

ガバナー月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER 2006→2007

NO.11



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

2007年
5月1日発行

ガバナーメッセージ	2	@2760だより	10
2007～2008年度 RIテーマ	4	@2760だより (パストガバナーからのメッセージ)	12
2007～2008年度 地区方針	6	ガバナーからの報告・お知らせ	13
第15回 ライラセミナー報告	7	会員数 及び 出席報告	15
地区協議会指導者会議報告	8		

5月



「新 緑」

国際ロータリー
第2760地区
ガバナー 斎藤 直美

〒470-0373
豊田市四郷町東畑125 さなげメディカルビル内
TEL.0565-44-2760 FAX.0565-44-2761
E-mail governor06-07@rotary2760.org
Governor's HP <http://2760.jp>

Governor Message

ガバナー メッセージ

クラブ会長各位
クラブ幹事各位

各位におかれましては、お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。今年の五月は昔と変わることのない、さわやかな空気とまぶしいばかりの陽の輝きとつややかな緑とを私達に与えてくれるのでしょうか。

お互いに各々の役職を拝命してから10ヶ月が経ち余すところ2ヶ月となりました。各クラブの長所・短所を厳しくチェックして特にクラブ運営が原理原則に従って行えたか運営できたかを反省しながら次なる会長幹事さんに引き継がれることを切に希望します。

私は公式訪問中に「スリーピングメンバーの対処はどうするのがベストでしょうか」との質問を2-3のクラブから受けました。その質問に我と我が耳を疑いました。会員の条件(資格)をよく御存知にないのでしょうか？

またPG 豊島さんのお話の中に「…例会に妻を代理出席させたり、社員を代理として奉仕活動に参加させてはどうかという好ましかざる話を他地区で聞いた。…」とありました。この2つの事例は多分現在の日本ロータリークラブの実情の一面を端的に表現しているように思われます。つまりロータリーの定款・細則が読まれることなくクラブが運営されロータリアンがランチタイムメンバーとして10年20年教育されることなく放置されていることの証であります。

私はガバナーを拝命するにあたり「原点回帰」を掲げ3つの提案をさせていただきました。その3つ目が「ロータリーを学ぼう」であります。

当地区内には次年度理事役員が決まると直ちに「定款・細則を読み合わせる会」を開催しているクラブがあります。

また隔月の第4例会をロータリー情報例会としてクラブ全員でロータリーの勉強を行っているクラブもあります。

同じようにクラブ全員を3班に分けて年2回はロータリー情報学習会へ出席することを義務付けているクラブもあります。

そんなクラブの公式訪問はしたくないのであります。ガバナーが評価されますから汗が出ます。負けないように手続要覧を読み返し、「奉仕の理念とは」を暗唱し（でもすぐ忘れますが…）ガバナーに筋金を入れてもらえたのだと胸を張って訪問しました。

妙な話はまだあります。それは「こんな大切なことはクラブのメンバー全員で総会で決めた



ガバナー 斎藤直美

ほうがよい」と時々聞こえてきます。とても立派で民主的で説得力があります。ロータリーには年次総会が12月に1回あるだけです。全員で決めることはありません。全て理事会で決定され遂行されます。

ひどい話ですが会長ノミニーが指名委員会で決定されたら、ある長老が「誰々さんが年長だし入会も早いだろう!!」と大声で訂正を求め、その通りの人事となり会長ノミニーの変更を指名委員会の決定もなしに会長が決めたという話もあります。クラブの長老（パスト会長）運営がままみられますが、あきれられる話であります。貴兄のクラブはいかがでしょうか？まだまだこんな話は沢山あります。

さて、次年度に申し送って欲しい事は

- ① クラブは理事会が管理運営を行う。
- ② クラブ奉仕委員会は定款の規定に沿って活動する。
- ③ 出席 - メーキャップはルール通りに。
- ④ 各種奉仕活動が長期化しているものは整理を考える。
- ⑤ 長期ビジョンを立案してみる。
- ⑥ 職業奉仕に軸足を置き対外奉仕はもう一方の片足をそろりと出すように。

会長さんが“やっぱりロータリーの学習会を開こう。”と呼びかけて欲しいと思っています。教科書は沢山ありますので教養科目としてロータリー学の蓄積はいかがでしょうか？

職業奉仕で己を高めロータリー学で品格を磨き言行一致への望外の効果を期待したいものです。

私は2回のラオスへのWCS活動へ参加してこの言行不一致を思い知らされました。ロータリーの思想史を学習し定款・細則を頭に入れてもロータリアンとしての日常的な行いがとれないのです。

水谷委員長のお伴で参加したラオスWCS活動で大勢の地区メンバーのお姿を見て恥じ入るばかりでした。

あと2ヶ月!! 思い残すことのないようまとめと次年度への期待を込めて整理に入りたいと思っています。

草々

2007～2008年度

R I テーマ



『ROTARY SHARES』

『ロータリーは分かちあいの心』

2007—08年度のテーマ、「ロータリーは分かちあいの心」は、ロータリーを通じて「普通の人々でも素晴らしい仕事がやり遂げられる」ことを私たちに日々思い起こさせる言葉である……。2007年国際協議会の開会本会議で、ウィルフリッドJ. ウィルキンソンR I 会長エレクトはこう述べてました。

「ロータリーは、私たちの手と心とが成し遂げる仕事を通じて示される愛ゆえに素晴らしいと言えるのです。ロータリアンとして、私たちはただ口先で人類愛を語るだけではありません。ロータリアンである私たちは、その愛を実践し、分かち合い、互いに助け合うのです」

ロータリーにはあらゆることに「分かちあいの心」があると、米国カリフォルニア州サンディエゴで開かれている国際協議会に集まった500人以上の地区ガバナー・エレクトに向け、ウィルキンソン会長は語りかけました。「私たちは、私たちの時間と才能とお金をニーズを抱えた人々と分かちあっています」

さらに、次のように続けています。「ロータリーにおける分かちあいとは、自分自身に不要となったものを施すことではありません。分かちあいとは、人のために我を忘れて自らを捧げることです」

ロータリアンはただ独りで分かちあいを実行せねばならないわけではない、単独のクラブでは地域社会へのニーズに応えきれないというのであれば、世界中のロータリアンに支援を求めればよいのだ、とウィルキンソン会長は述べます。

「ロータリーは分かちあいの心」とは、単なるテーマではなく、実行への呼びかけでもあります。国際協議会で受ける研修の成果と感動を携えて次年度に臨む次期ガバナーとして、自らの指導力、スキル、そして献身を分かちあい、クラブと地区をさらに充実させることに全力を傾けるよう、ウィルキンソン会長エレクトは呼びかけました。



2007～2008年度 RI 会長エレクト
ウィルフリッド J. ウィルキンソン

ロータリーを分かちあうことは、ロータリーを強めるだけでなく、ロータリーを奉仕の第二世紀にも末永く存続させていくものです。「ロータリーは分かちあいの心」はまた、地元のロータリー・クラブに入会するよう人々を誘うことも意味しています。

「ロータリーは発展しなければ、分かちあいの心を持ち続けることはできません」と会長エレクト。ロータリーが成長していくために、次年度に1人の新会員を入会させることをクラブ会長に指導するよう、ウィルキンソン会長はすべての次期ガバナーに要請しました。

「新会員なくして、ほかを語るわけにはまいりません。（若者と新会員がいなければ）ロータリーは数十年のうちに消滅してしまうからです。既にそのような残念な結果を招いたところも多くあります」

新クラブ会員を迎え入れるという大切な仕事に加え、元ロータリアンの存在も忘れてはならない、亡きロータリアンの配偶者も含め、元クラブ会員にも参加してもらう必要がある、と会長エレクトは訴えました。

さらに会長エレクトは、人々を援助できるこの機会が二度と訪れないものであることにも触れました。

「この一年間は、地区ガバナーとして、クラブを支え、導き、皆さんの長所と愛を分かちあうチャンスです。さまざまなことを求められる年になるでしょう」

「今年度、ロータリーを余すところなく自由に分かち合ってくださいようお願いいたします。愛を持って、仕事に励んでいただきたいのです。そして、人々のために奉仕する行為のすべてがロータリーの魔力の一部であることを、どうか忘れないでください。その魔力とは、皆さんや私のような普通の人々にまったく想像もつかなかったような素晴らしいことを成し遂げさせる力です」

2007～2008年度 第2760地区 地区運営方針

地区運営方針



2007～2008年度
ガバナーエレクト
江崎 柳節

違いをもたらそう (One Difference)

- ロータリーは選ばれた優良な実業人と専門職業人が集い、奉仕の理想の会得を誓い合った人々のコンペの場です。業界ではなし得ない会員相互の研鑽と専門性をともなった高い倫理に結ばれた友情の舞台です。素晴らしい仲間がいることがロータリーの誇りであり、高い倫理と専門性が奉仕の質を比類のないものにして行くことがたまらない魅力です。
- 今や奉仕はロータリーの専権ではありません。地域にはNPOの活躍が注目されています。ボランティアは地域のニーズに応えています。高齢者を中心の世直しの運動は成果を挙げつつあります。ロータリーの奉仕理念が今ひとつ解りにくく、社会の認知度も意外にも高くない。ロータリーの違いを見直しましょう。今こそロータリーの高邁な倫理性、高い専門性、職能性を基にした奉仕でその違いをもたらし感銘を与えましょう。
- クラブ管理もマンネリになってはいないか。退会動機の三大原因は①クラブに指導性がない(68.1%)、②クラブのあり方に魅力がない(52.5%)、③クラブのプログラムが充実していない(51.6%)(RI調べ)です。クラブ奉仕を中心にもう一度見直す必要があるかも知れません。
- 奉仕プロジェクトにあっても寄付、協賛団体になってはいないか。ロータリーにはロータリーが誇るプログラムがあり、クラブ固有の奉仕にあっても少数限定でもよいからロータリーらしい奉仕を検討してみましょう。

第2760地区2007～2008年度方針

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| 1) クラブ基盤の強化 | クラブの魅力を高めましょう。会員純増2名を実現しましょう。 |
| 2) 成果多い奉仕を | 地域ニーズと合っていますか。ロータリー本来のプログラムにも関心を。 |
| 3) 奉仕の資源に関心を | ロータリー財団、米山奨学会プログラムに参加、寄付に協力を。 |
| 4) 指導者の育成 | クラブの枠を超えたロータリー指導者の育成を。 |
| 5) 研修と教育の充実 | あらゆるレベルの会合に出席して自己研鑽を。 |

クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)についての地区見解

クラブの近未来におよぶ運営について全員協議会で論じられたことがありますか。CLPはロータリーの歴史において画期的なクラブ向上の一手段です。しかし、これを是が非でも“採用”するという必要はありません。これに倣って委員会を減らす必要などありません。でもクラブ活性化のアイデアとしては一考の価値がありそうです。一度はクラブで論じ合ってください。よいところに気付けばそこだけ取り入れましょう。RIのお仕着せだなんというこだわりを捨てて考えてみて下さい。CLPに示されている5項目はクラブの活性化の決め手であることはRIが検証しています。クラブの現状と照らし合わせて見直してみましょう。但し四大奉仕の機構はCLPと何ら関係のない、ロータリーにとって遵守、不可侵のものですからご確認下さい。CLPの導入はクラブの裁量権内のことです。そしてロータリー未来委員会、地区研修委員会、ロータリー情報委員会はCLPに限らず、既存の委員会で諮れない問題点に向かって検討を進めています。あらゆる地区委員会はクラブからのご相談、ご意見に応えようとしています。地区はクラブを支援する最大の責務を負っています。

- ◆会員増強・退会防止
- ◆クラブ広報
- ◆クラブ管理運営
- ◆奉仕プロジェクト
- ◆ロータリー財団

ライラセミナー「第15回」を開催

地区ライラ委員会

委員長 熊澤 勝則



2006～2007年度のライラセミナーが3月24、25日（土、日）に「サンパレア瀬戸」にて開催されました。

ライラ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）セミナーはロータリーに関係ないところから青少年を集め、ロータリークラブ会員が共に過ごし指導力の養成とともに奉仕の精神を伝え、その資質の発展と向上を奨励・援助し友愛を深める為のセミナーであります。

今回のセミナーには地区内81クラブからの推薦に依る受講生132名、国際ロータリー第2760地区斎藤直美ガバナー、江崎柳節ガバナーエレクト、地区役員、新

世代関係他多数のロータリアンの参加をいただき総勢360余名の開催となりました。

当日は開講式での斎藤直美ガバナーの挨拶、薬師寺管主 安田暎胤殿下の基調講演に続き「将来の日本」のテーマのもと分科会（第1部）・夕食・懇談会・分科会（第2部）と友愛を深めながら1日目を終了しました。

翌日も分科会（第3部）・全体発表会と進み閉講式（修了証授与等）となりました。

短い時間の間ではありましたが、大いに議論が盛り上がり受講生・ロータリアン共、大変有意義な時間を持つことが出来たと思います。

この訓練と経験が将来地域の指導者として活躍されるきっかけになる事と信じます。



最後にセミナーのホストクラブ「尾張中央ロータリー」の方々、運営に協力してくれた「新世代ライラ友の会」の皆さんに感謝申し上げます。

2007～2008年度 地区協議会指導者会議 報告

豊田東RCのホストにより5月6日に行なわれる2007～2008年度地区協議会のための指導者会議が2007年4月1日(日)午後1時半よりウェスティンナゴヤキャッスルにおいて、梅村憲一副実行委員長の司会進行により行なわれました。プログラムに従い概要を報告します。

深田利幸ホストクラブ実行委員長より開会の挨拶がありました。『豊田東RCには、優秀な会員が80名おります。この80名の皆と力を合わせ、そして地区役員の皆様方のご指導を仰ぎながら一生懸命努めさせていただき事をお約束いたします』と。

斎藤直美ガバナーからは、『私は昨日、京都の地区大会に行って来ました。RI 会長代理は2830地区青森のバスターガバナー関場さんです。あの地区には、私共の地区大会の時 RI 会長代理を務められました宮崎さん、又、万博の時に非常にお世話になりました千玄室バスターガバナー（元 RI 理事）もお見えでしたので、ご挨拶を兼ねて参加させて頂きました。私は帰りの列車の中で地区の指導者会議の皆さんの名簿を全部チェックさせて頂きましたが、顔ぶれを見ますと、江崎さんは実に楽だと思いました。江崎年度は「違いをもたらそう」という事です。RI 会長のテーマは「ROTARY SHARES」です。地区協議会では、この2つの事を皆さんのお力をお借りしながら浸透して行こうという会議であります。どうぞ日曜日の午後、効率よく会議を進めて頂き、地区協議会の準備を宜しく願いいたします』と挨拶がありました。

江崎柳節ガバナーエレクトからは、『今日は4月1日でごさまして、今日をもって世の中は新年度入りをするわけですが、私共も新年度へ向けて地区協議会という非常に重要な会合のための指導者会議を開催させて頂きました。今まで私共はエレクトクラブとして地区チーム研修と PETS を立ち上げさせて頂きましたが、だんだんと催し事が大きくなりますとエレクトクラブでは手におえなくなります。この度の地区協議会は、豊田東 RC にお世話になっております。豊田東 RC には先程のご挨拶の中にありましたように、80名の精鋭がおいでになりますが、一年前から一生懸命やっただき今日を迎えた訳であります。一ヵ月後には本会議がございます。本当にお世話になりますがどうぞ宜しくお願いいたします』と挨拶がありました。

又、次期地区研修リーダー豊島徳三バスターガバナーからは、『この地区協議会というのは、4月もしくは5月に開催される事になっており、一日セミナーの目的はロータリークラブの次期指導者が任務に備えて準備するものであります。その出席者はクラブ会長エレクト及び次ロータリー年度の指導的役割をはたすように、会長エレクトから任命されたロータリアンであるというふうに求められております。今日は5月6日に対するリハーサルのようなものであり、それぞれのテーブルには素晴らしいリーダー、アドバイザーがいっぱいいますので、この人達のご意見でもって当日がスムーズに運びますように、あるいは出席者の発言をうながすように打合せをして頂きたい。データが欲しい場合には求められてもよいと考えております』と挨拶されました。

ホストクラブからは豊田東 RC の柴田明司会長が、『今日の指導者会議には、我々豊田東 RC から9つの分科会にそれぞれの担当者をはじめ34名の参加をさせて頂いていますが、開催日当日はホストクラブと致しまして深田実行委員長をはじめ全会員81名の登録をさせて頂きます。本日の指導者会議がスムーズに進行し、実りある会議となります事、又当日の地区協議会が成功裡に開催されホストクラブとしての役割がはたせるよう一生懸命に努力させて頂きますので、ご指導の程重ねてお願い致します』と挨拶されました。



柴田会長の挨拶の後、梅村憲一副実行委員長より第1から第9分科会のリーダーの紹介と、河村嘉男次期地区幹事より指導者会議の目的の説明がありました。その後、5月6日開催の地区協議会の概要説明が深田利幸実行委員長からあり、休憩をはさんで第1から第9分科会にそれぞれに別れて、各分科会リーダーのもとプログラムの内容と役割分担について会議が行なわれました。

地区協議会分科会

第1分科会（会長・幹事・会計）

テーマ：有効なクラブ運営・管理（地区内の連帯と達成感を）

第2分科会（副会長・会長エレクト・クラブ奉仕・R情報・会員増強・広報・IT・R家族）

テーマ：クラブにもっと魅力を。新時代のクラブ運営管理

第3分科会（職業奉仕）

テーマ：職業奉仕はロータリーのステータス

第4分科会（社会奉仕・RCC・環境保全）

テーマ：地域のニーズとロータリーのプログラム ロータリーの魂

第5分科会（国際奉仕・青少年交換・世界社会奉仕）

テーマ：国際奉仕はロータリーの得意分野・世界の幸せと平和のために

第6分科会（新世代・インターアクト・ローターアクト・ライラ）

テーマ：新世代の育成こそロータリーの手で

第7分科会（ロータリー財団・年次寄付・地区補助金・財団奨学・財団学友・研究グループ交換・ポリオプラス・恒久基金）

テーマ：この活動の真価を知ろう 地域と世界平和への挑戦

第8分科会（米山奨学）

テーマ：米山学友は世界を・日本を支える力

第9分科会（一般会員・クラブパスト会長・指導者を志す会員・入会3年以下の会員）

テーマ：ロータリーは人生の規範を学ぶコンペの場 先哲に学ぶ

最後に江崎ガバナーエレクトより『クラブのロータリーのエネルギーと地区の皆様方の熱気とはかなり違うように感じます。地区の指導性とエネルギーは、是非クラブに波及したいものだと思います。今日は指導者のための会議でございますが、今日からすでに色々面白い企画が出ているように思います。大変5月6日が楽しみでございます。本日は本当にありがとうございました』と、閉会の辞を頂き幕を閉じました。



@2760だより

一宮ロータリークラブ

『ポール・ハリスの木』

一宮市の中心地、真清田神社の境内に月桂樹の木がある。

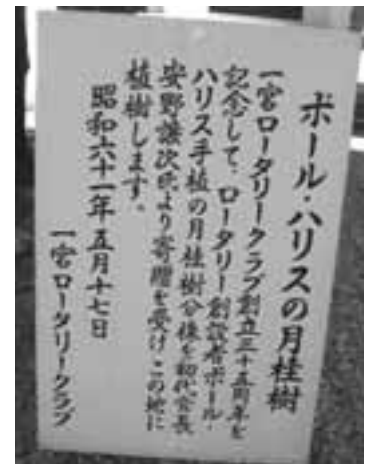
私たち一宮ロータリークラブが「ポール・ハリスの木」とよぶ月桂樹の木である。

1935年第5回太平洋地域大会がフィリピンのマニラで開催されたが、ポール・ハリス夫妻がこれに参加するための往路途次、日本へ立ち寄る知らせがあった。東京、横浜では盛大な歓迎の準備をしていたが、荒天のため、その乗船プレジデント・クーリッジ号は2月6日朝8時横浜入港の予定が大きく遅れて2月9日午前5時になった。

そのためあわただしい日程となり、ポール・ハリスは横浜で小憩の後、帝国ホテルの中庭に月桂樹を記念植樹し、歓を尽くす間もなくその夜、神戸へ出港した。

時移り、戦禍のなかを潜った記念の月桂樹はホテルの片隅で枯死寸前であったという。

1968年帝国ホテルが改築されるに及んで東京 RC 会員で第一生命のオーナー矢野一郎さんが、富士山麓の足柄上郡大井町の社屋の庭へ、野草研究家の手と米国から取り寄せた薬品をかりて枝葉を移植した。その数、100本とも300本ともいわれたが、そのほとんどが枯れてしまった。しかし献身的な努力により、ついに8本の月桂樹が活着したという。



1980年4月よみがえった月桂樹は東京 RC 創立60周年に際し新装なった帝国ホテル正面の庭に戻されました。また、三島の米山梅吉記念館前庭、皇居北の丸公園にも移植されました。その際にこれを株分けして譲り受けた P.D.G. 一宮 RC 安野譲次が小田原の自宅の庭で丹精込めて育てていた。

1985年一宮 RC は創立35年にあたり、それを記念して翌1986年5月17日に安野譲次初代会長はこの月桂樹をさらに分け木してクラブに寄贈した。いただいた月桂樹は真清田神社の社殿横の服織神社（はとりじんじゃ）の本殿西側の垣内に定植し、クラブの熱意に守られて、より立派に成育している。

ロータリーの創始者ポール・ハリスを偲び、ロータリーの原点を想う緑として「ポール・ハリスの木」はいつまでも静かに佇んでいる。

真清田神社 宮司 飯田 清春

名古屋北ロータリークラブ

『俳句友の会「はぐるま」』

★ 5年目を迎えた名古屋北RC俳句友の会「はぐるま」

平成15年3月に会員17名で発足した俳句友の会「はぐるま」は活動5年目に入り、会員も30名に増え、毎月第二木曜日に例会を開き、活発な活動を行っています。

会の発足は、平成14年4月のクラブ家族旅行会で、当時親睦委員長であられた山口兼市さん（現在友の会の世話人の一人）に乘せられて、旅行会に参加された皆さんに俳句を作っていただき、力作を句集にしたのがきっかけで、その後数人の方から「友の会を立ち上げたらどうか」と勧められ、重い腰を上げて15年3月にやっと発足できたと言う経緯です。

これまでに吟行を4回行いました。2004年「犬山城」、2005年「徳川園美術館」、2006年奥の細道終結の地「大垣」、それと今年の4月「岡崎城」で、楽しい散策と句会、その後の懇親会と中身の濃い1日を過ごしました。

また、これまで「はぐるま句集」を3巻まで発刊し（現在4巻作成中）、活動の足跡を残すようにしてきました。楽しい吟行はこれからも年1回は行っていく計画で、句集も年1回のペースで発刊していく計画です。友の会会長は発足当時クラブの会長であられた小栗七生さんをお願いし、指導者は俳句結社「伊吹嶺」の同人であられる矢野孝子女史をお願いしています。矢野さんには平成19年1月26日のクラブ例会で「家族を詠む」と題して、卓話もしていただきました。



毎月の例会は、十数名の出席があり、句会とその後の夕食を兼ねた懇親会で、お互いの句を楽しく鑑賞しあい、和気藹々に俳句談義や趣味の話に花を咲かせて、親睦を深めています。会場は小栗七生会長のご好意により、トヨペットニッセイビルの会議室を使わせていただいております、友の会運営上大変助かっています。

皆さんと一緒に、これからもさらに楽しい友の会になるようにしていきたいと思います。

世話役 相馬 保之

パストガバナーからのメッセージ

「ロータリークラブ “今日の問題”」

パストガバナー 野村 重彦



ロータリー奉仕の“第2世紀”を迎え、私共の目指す“奉仕の理想”、全世界の誰もが享受出来る“平和で豊かな社会造り”達成に向けての貢献の数々、その成功体験は目を見張る素晴らしいものです。

しかし、その中で生じた疲労、倦怠ともいえる多くの問題の中で、近年、世界的な会員減少、高齢化、出席率の低下が問題とされています。しかし、その中で会員数が相変わらず減少し続けて居るのは日本など数カ国であり、全世界的には減少より増加に転じ、現在122万名、一時期の一万数千名の減少を克服し増加に転じています。しかし、日本ではクラブ数が増加しているのに反し、会員数は減少を続け、過去5年間で平均15%、減少率の高い処は25%に達しています。かつて13万余名の在席者がこの10年で10万余迄減少しています。私共2760地区も8年前6,400名が現在5,200名程となって居ります。

世界規模で進む社会の変化の中で、ロータリークラブの発展を阻害する色々なファクターが考えられる中で最も懸念される事と言えば会員減少の問題であります。

今日、我々が当面するこの問題は

1. いたずらに増強、拡大に走った為のツケ
2. 世界的な不況
3. 情報化時代の中で“群れない人々の時代”の進展
4. 若年層が魅力を感じないロータリークラブの体質
5. ロータリアンの自覚の不足

などなどが挙げられますが、奉仕の理想を受け入れ、実践するロータリアン、ロータリーの基本ルールを守り意欲的なロータリアン、世界で最もよく奉仕する人々の団体などと言われながら、会費は払い例会には出るが、会場では次のゴルフの日程の打ち合せ、会場を出ればロータリーの事を忘れてしまうロータリーメンバーなど、ロータリアンとしての自覚の不足も言われて居ります。

今年度、斎藤ガバナーは“クラブ奉仕に徹しよう”を年度方針のトップに挙げて居られ、地区運営方針として“原点回帰”を訴えて居られます。ここで一度「ロータリーは正しい方向に向っているか」を自問自答し、その心と原点を大切に考えてみたいと思います。

100年程前、当時殺伐なシカゴの街で誕生したロータリークラブは、当初親睦と相互扶助をモットーとし、あまり高邁な志を持ったものではなかったと伝えられています。しかし、その草創期を経て、ロータリーの理念形成の厳しいドラマの数々の中で、ロータリアンは奉仕の理想に目覚め、奉仕の心、自己研鑽に努め、今日のロータリーの発展とその持っている素晴らしい魅力を備えたと思います。

今年“原点回帰”が叫ばれて居る中で、ロータリークラブの素晴らしい成功体験と、その持つ魅力の中で安住する事なく新たな挑戦の年と考えます。

ガバナーは、クラブ奉仕に徹しようを年度方針に掲げて居られます。クラブ奉仕は、ロータリークラブの奉仕活動を支える土台、大黒柱とも言えるもので、これがしっかりしていないとクラブの活力は失われ、親睦もなく荒涼としたクラブとなり奉仕どころでなくなってしまいます。数あるクラブ奉仕の中で、私は、まず良質なクラブ会員の増強充実こそスタートの第一歩と考えて居ります。

“率先しよう”皆様のご貢献を期待致します。

我が地区のこんなロータリアン



岩瀬 五郎 (82歳)
(一色 R C)

人生はマラソンだ…走り続けて64年
走者はロータリアンとして、これまで地元をはじめ国内外の大会
出場の先々においてマラソンというスポーツを通して奉仕活動に
努めている素晴らしさは、我がクラブが誇る一人であります。

▶▶ 主な大会出場歴等 ◀◀

【国内大会】

全国の大会の第1回～第5回までに、優勝2回、第3位1回、第5位1回をはじめとする数々の競技歴と大会成績の保持者

【海外大会】

ドイツ…ケルン スウェーデン…シュブディ チェコ…カルロワワー アメリカ…ボストン カナダ…バンクーバー

【今年の主な大会出場予定】

2月…沖縄とかしき島 3月…桜島 4月…塩原 5月…小豆島 10月…久米島 11月…宮島



杉浦 義夫
(西尾 R C)

次年度50周年を迎える西尾 RC でクラブの生字
引として唯一今もチャーターメンバーでロータ
リー精神を説く杉浦氏をご紹介致します。

▶▶ 活 動 年 譜 ◀◀

1958年 西尾 RC のチャーターメンバーとなる

1968年 幹事就任 1971年 副会長就任 1973年 会長就任

1993年 RI2760地区 西三河第2分区分区代理に就任。そして此の間、県立西尾高校 PTA 会長・学泉大学後援
会長など歴任して社会奉仕に努め、また1966年にはタンザニア国でキリマンジャロ毛布会社を合併設立
して取締役役に就任。以来、海外の各地の RC を訪問して国際交流に努めた。

名古屋南ロータリークラブ創立50周年を迎えて

記念式典並びに祝賀会

2007年4月4日(水)

名古屋観光ホテル〔3F／那古の間〕

名古屋南ロータリークラブ

会 長 木戸長一郎

名古屋南ロータリークラブは1957年2月、21名の会員で設立され、爾後、
充実した活動を続け会員は121名となり、今年4月4日、創立50周年記念
式典を名古屋観光ホテルで行った。斎藤ガバナー及び地区クラブ会長、幹
事、姉妹提携クラブであるサンパウロ南ロータリークラブの会長夫妻らを
招き、盛大に記念式典を行うと共に地域
社会へのいくつかの寄付活動を行った。

私は当クラブメンバーの結束、奉仕、
先見性に富む行動力が活動の源泉である
と評価し、関係施設への寄付を行い、更
に100周年式典へ向かっての出発を宣言
した。



ガバナーからの お知らせ・報告

第5回地区諮問委員会

日時：2007年4月1日（日）

AM11：00～

場所：ウェスティンナゴヤキャッスル 2Fルパレ

出席対象者

奥谷 博俊(P.D.G.)	内藤 明人(P.D.G.)
福田 浩三(P.D.G.)	野村 重彦(P.D.G.)
盛田 和昭(P.D.G.)	福田 清成(P.D.G.)
加納 泉(P.D.G.)	太田賢太郎(P.D.G.)
神戸 政治(P.D.G.)	岡部 快圓(P.D.G.)
宮地 信尚(P.D.G.)	豊島 徳三(P.D.G.)
蜂谷 弘道(P.D.G.)	大島 宏彦(P.D.G.)
石川 和昌(P.D.G.)	高橋 治朗(P.D.G.)
松本 宏(P.D.G.)	斎藤 直美(D.G.)
	江崎 柳節(D.G.E.)

◆オブザーバー：

藤井地区幹事・河村次期地区幹事・松井地区副幹事

●斎藤ガバナー挨拶

●協議事項

1. 指名委員会からの答申 2009～2010年度ガバナー
2. 第4回地区諮問委員会
3. その他

●報告事項

1. 2006～2007年度 地区大会 決算報告
2. 2006～2007年度 地区資金 中間報告
3. 2007～2008年度のための地区協議会指導者会議 資料
4. 2007～2008年度のための地区協議会 分科会指導者名
5. R I 2830地区との交流会写真集について
6. 国際協議会報告
7. その他

■ 上記項目について協議・報告しました。

周年事業開催日程のお知らせ

5月の開催

豊橋北RC 創立50周年記念式典	5月19日(土) 場所：ホテルアソシア豊橋	●受付開始 14：00～ ●記念式典 15：00～16：00 ●記念講演会 16：15～ ●祝 宴 18：00～20：00
	50周年記念ゴルフ大会 50周年記念市民公開講演会 50周年記念コンサート	
名古屋昭和RC 創立15周年記念例会	5月21日(月) 場所：名古屋東急ホテル 〔3F／ルネッサンスの間〕	●受付開始 16：30～ ●記念式典 17：00～ ●祝 宴 18：00～20：00 (アトラクション：祝いの宴 K-WEST とともに)
	4月8日(日) 場所：東海カントリークラブ	5月15日(火) 場所：ホテルアソシア豊橋
		5月15日(火) 場所：ライフポート豊橋 ★豊橋交響楽団

変更のお知らせ

先月(4月号)の会員数及び出席報告内において、数字等に誤りがありました。訂正・お詫びさせていただきます。

●春日井RC	(誤) 89.16%	→	(正) 98.16%
●全体	94.72%		94.82%

会員数及び出席報告（平成19年 3 月分）

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月女性	入会		退会		例会数	3 月出席率
		2006年 7月1日	7月1日 女性	2007年 3月末日		3月	累計	3月	累計		
南尾張分区分	半田	60	3	61	3	0	4	0	3	5	99.62%
	常滑	54	0	53	0	0	0	0	1	4	95.35%
	東海	57	2	60	2	0	3	0	0	3	96.10%
	東知多	24	1	23	1	0	0	0	1	4	90.90%
	半田南	49	1	48	1	2	3	0	4	4	98.84%
	知多	23	0	24	0	0	1	0	0	4	81.25%
	大府	25	1	25	1	1	2	0	2	4	94%
	7 RC	292	8	294	8	3	13	0	11		93.72%
西尾張分区分	一宮	78	0	80	0	0	4	0	2	4	98.26%
	津島	75	3	77	3	0	2	0	0	4	91.13%
	尾西	31	0	31	1	0	1	0	1	4	95.16%
	一宮北	55	0	56	0	1	2	0	1	5	92.76%
	稲沢	60	0	60	0	0	2	0	2	3	85.03%
	あま	88	0	92	0	0	4	0	0	3	97.27%
	名古屋清須	39	1	39	1	0	1	0	1	4	87.11%
	尾張中央	46	0	46	0	0	4	0	4	3	95.24%
	一宮中央	53	4	53	5	0	2	0	2	3	92.20%
	9 RC	525	8	534	10	1	22	0	13		92.68%
東尾張分区分	瀬戸	73	3	77	3	0	6	0	2	3	100%
	犬山	82	0	83	0	1	3	0	2	4	100%
	江南	52	1	54	1	0	3	0	1	5	97.86%
	小牧	51	3	50	3	1	2	0	3	3	91.47%
	春日井	62	2	62	2	0	4	0	4	5	99%
	尾張旭	30	0	30	0	0	0	0	0	5	99.34%
	名古屋空港	56	1	55	2	0	1	0	2	3	100%
	瀬戸北	70	4	70	4	0	0	0	0	4	100%
	岩倉	19	0	19	1	0	1	0	1	4	97.36%
	豊山・城北	20	1	21	2	0	3	0	2	4	88.24%
	愛知長久手	22	2	26	3	0	4	0	0	4	80.76%
	11RC	537	17	547	21	2	27	0	17		95.82%
西名古屋分区分	名古屋	178	0	192	0	1	19	2	5	4	92.76%
	名古屋西	102	0	101	0	0	5	1	6	5	90%
	名古屋南	114	0	121	0	2	10	0	3	3	93.06%
	名古屋みなと	72	0	79	0	1	9	0	2	5	95.75%
	名古屋東南	72	6	72	6	0	2	0	2	3	77.40%
	名古屋中	137	0	140	0	0	6	1	3	4	100%
	名古屋瑞穂	72	0	74	0	1	3	0	1	3	98.77%
	名古屋大須	68	3	69	3	0	1	0	0	4	91.67%
	名古屋栄	71	0	70	0	0	2	0	3	3	91.41%
	名古屋名南	78	12	76	12	0	3	0	5	3	99%
	名古屋名駅	93	4	97	3	0	9	1	5	3	92.83%
	名古屋西南	48	6	49	6	0	4	0	3	5	95.57%
	12RC	1,105	31	1,140	30	5	73	5	38		93.19%

クラブ	平均
平均出席率	81
	94.61%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月女性	入会		退会		例会数	3 月出席率
		2006年 7月1日	7月1日 女性	2007年 3月末日		3月	累計	3月	累計		
東名古屋分区分	名古屋北	94	0	98	0	2	9	1	5	5	99.74%
	名古屋東	91	0	88	0	1	1	0	4	3	93.83%
	名古屋守山	65	7	63	7	0	3	1	5	3	94.57%
	名古屋和合	96	0	98	0	1	4	0	2	3	90.95%
	名古屋名東	57	6	60	7	0	5	1	2	4	100%
	名古屋名北	46	7	51	8	0	5	0	0	3	94.59%
	名古屋千種	58	6	59	6	0	4	0	3	4	91.02%
	名古屋昭和	59	0	60	0	0	2	0	1	4	99.55%
	名古屋錦	34	6	35	6	0	1	0	0	4	88.98%
	名古屋東山	57	2	54	2	0	1	0	4	4	67.79%
	名古屋葵	24	0	24	0	0	0	0	0	4	83.70%
	11RC	681	34	690	36	4	35	3	26		91.34%
東三河分区分	豊橋	118	4	116	4	0	2	2	4	5	93.40%
	蒲郡	58	0	57	0	0	3	0	4	5	90.73%
	豊橋北	91	2	94	2	2	8	0	5	4	97.82%
	豊川	68	0	69	0	1	3	0	2	3	98.79%
	田原	56	1	55	1	0	0	0	1	5	90.22%
	豊橋南	64	0	64	0	0	1	0	1	4	94%
	新城	55	0	53	0	0	0	0	2	4	93.40%
	渥美	35	0	37	0	0	6	2	4	3	90.61%
	奥三河	20	3	20	3	0	0	0	0	3	93%
	豊川宝飯	54	0	56	1	0	3	0	1	4	93.50%
	豊橋ゴールデン	63	0	62	0	0	3	0	4	5	93.93%
	田原パシフィック	68	0	68	0	1	2	0	2	4	95.97%
西三河分区分	豊橋東	48	0	46	0	0	0	0	2	3	100%
	13RC	798	10	797	11	4	31	4	32		94.26%
西三河分区分	岡崎	95	1	95	1	1	6	3	6	3	98.31%
	豊田	80	0	80	0	0	3	0	3	4	100%
	岡崎南	95	2	97	2	2	5	0	3	4	97.43%
	豊田西	101	0	101	0	0	2	1	2	3	99.64%
	岡崎東	65	0	64	0	0	3	0	4	4	95.75%
	豊田東	81	0	81	0	0	2	0	2	3	96.92%
	岡崎城南	74	0	74	0	0	1	0	1	4	97.84%
	豊田三好	21	2	22	2	1	2	0	1	4	93.69%
	豊田中	47	5	49	5	0	4	1	2	5	100%
	9 RC	659	10	663	10	4	28	5	24		97.73%
西三河分区分	刈谷	89	2	96	4	1	10	1	3	4	100%
	安城	62	1	64	1	2	3	0	1	5	96.50%
	西尾	74	1	74	1	0	1	0	1	4	100%
	碧南	75	0	79	0	2	8	1	4	3	99.49%
	一色	30	0	29	0	0	1	0	2	5	97.93%
	高浜	41	2	41	2	0	1	0	1	4	100%
	知立	66	0	67	0	0	2	0	1	3	100%
	西尾 KIRARA	62	0	58	0	0	1	1	5	4	100%
西三河分区分	三河安城	53	5	57	6	1	4	0	0	3	89.33%
	9 RC	552	11	565	14	6	31	3	18		98.14%

地区内クラブ数 81RC	2006年 7 月 1 日 会員数	5,149 名	内女性 129	増加会員数（累計）	260 名
	当月会員数	5,230 名	内女性 140	減少会員数（累計）	179 名
	当月平均出席率	94.61%		差引純増会員数（累計）	81 名



**ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760**

今月の表紙



「新 緑」

小原和紙工芸
日展会員 山内一生 作

まちわびた春が野山に訪れる。
心象風景ではあるが、木々の
芽吹きをたくみに表現し、身体全
体でそのエネルギーを感じ取り、
生命力の表現に特に注意を払った。
淡いみどりの濃淡が自然界の
新たなパワーを感じさせる。